地区広報
芸術の森
題字　平澤　博

第18号
平成22年11月30日
発行　地区広報・芸術の森
編集委員会
印刷　(株)辻　孔　版　社

組織の一体化について検討を進めています

芸術の森地区町内会連合会　会長　関　口　　明

芸森地区の皆さんには、春以来地区の各種事業への参加をはじめ、保養センター駒岡の存続へ向けて署名活動にご協力を賜りまして心よりお礼申し上げます。

まちづくりセンターの自主運営移行後、運営を行なう上で非効率的な事柄が生じています。このため、早急に改善策をとることが得策と考え三役会議で検討を重ねてきました。ここでは、これまでの検討経過と今後のスケジュールなどについて説明いたします。

◆ 事の発端は、単一の組織でよいのでは

この点については、本紙の第17号でも若干触れましたが、自主運営の検討過程で町内会連合会と他の団体を合せた地域を包括する組織を、市の受け皿とするよう市の指導があり、「まちづくり推進会議」をその任に充てることにしました。

事業や予算の検討が進むにつれて、今まで町内会連合会の各種事業と、これを実施するための経費の両面で複雑さが増してきました。加えて振り分けと配分を二組織に説明する必要性も生じました。

所謂二度手間のことで、これを省くことで作業が効率よく行なわれ、そこで生まれた時間を他の仕事に回すことができます。

◆ 二組織で同じ顔ぶれが多い

さらに昨今の役員のなり手不足があります。どの会合へ出席しても大なり小なり同じ顔ぶれのことが多く、例えば町内会連合会の理事とまちづくり推進会議の委員の多くが重複していることなどもその代表的なものです。

近年は、団体組織や事業、行事の多さが指摘されており、このことが会議の多さにもつながっています。組織の数を減らすには、そして会議や行事の数を減らすには、その策が大きな課題となっています。

◆ 南区における地区連合会の現状

南区には10の連合町内会または町内会連合会があり、その中で地区連合会としたところは3地区があります。澄川地区は以前から地区連合会としており、真駒内地区は平成21年のまちづくりセンターの自主運営移行と同時に、藻岩下地区は明年からの自主運営移行へ向けて本年9月末より、この3地区が既に地区連合会としています。

共通しているのは何れもまちづくりセンターの自主運営に移行した地区か、移行を前提とした地区です。

それぞれ事情はありますが、共通点は、まちづくりセンター自主運営のメリットの一つに「自分たちのまちのことを、自分たちで考え決めて行動できる、市民自治が可能になります」この原点に立っているところです。

◆ 今後のスケジュール

本年7月より三役会議において会則等の素案をつくるための検討を行なってきました。11月からは理事会に提案し趣旨説明と意見交換をできるところまできています。

今後は、明年2月に町内会連合会とまちづくり推進会議の臨時総会を開催し、代議員の方々の御意見もお聞きしたいと考えています。

平成22年度芸術の森地区 雪あかりの祭典 日程

企画部

芸術の森地区「雪あかりの祭典」は、今年5回目を迎えます。8月12日に実行委員会が開かれ、今年度の予定が決まりましたのでお知らせいたします。

1. 芸術の森地区（平成23年1月29日）（土）
   芸術の森、関口雄揮記念美術館、札幌市立大学、常盤児童会館
2. 駒岡地区
   ・駒岡小学校（2月3～4日）（木、金）
   ・保養センター駒岡（2月11日）（金・祝日）
3. 南老人福祉センター・見晴町内会（2月5～6日）（土、日）
4. 芸術の森地区イルミネーション点灯（12月上旬～2月中旬）

各所では、昨年の反省を踏まえて、より皆さんに楽しんで頂けるように検討をしています。概要につきましては、チラシ・ポスターを準備しておりますので、ご覧ください。出来次第、回覧等いたします。

また、これに関連し「キャンドル作り講習会」を12月9日（木）午後1時半より、まちづくりセンターで行います。回覧でお知らせしますのでご参加ください。

住んでいてよかったと感じる地域に

防犯・防災部　蓑輪

師走を迎え、皆さん方と共に元気で安全・安心して暮らせることを願い、火災予防と身近に感じている犯罪などについてご紹介し、被害に遭う前にお役に立つことがあれば幸いに存じます。

1　この地で住んで良かったね。だが最近「救急車・消防車、ヘリコプターなどの音の響き」などを感じ、その都度飛び出し、どなたかな、大丈夫かなと近隣の方々も顔を出すなど更に「静かに近寄る介護支援車両など」に接し、われを含め超高齢化へと進行しつつある兆しだと肌で感じております。

いよいよ降雪期です：皆さんご承知ですが重要事項は繰り返します。

「緊急車両等の道路を確保しましょう」路上駐車は違反だ、除雪時のルールを守ろう。

2　火災予防　「歳末消防特別警戒（12月1日～31日）」

火の用心：暖房器具使用中、放火などに注意、住宅用火災警報器を設置して火災から免れた事案発生。警報器は設置していますか？

3　身近に感じる犯罪多発――各町内会役員の方々に実践型防犯教室で手口、対策などを話してもらいました。さる10月28日札幌南警察署生活安全課の担当者から最も身近に不安を感じている「住宅侵入、振り込め詐欺、街頭犯罪など」誰もが被害者になる可能性がある犯罪について、模型を使い住宅の侵入手口、ガラス破壊の実演・体験等具体的な手口と対策について指導頂きました。各町内会役員の皆様方には、突如襲ったドカ雪にも拘らず、ご参加頂き感謝申し上げます。

今回の要旨次の通り

身近な犯罪	概　　要	防止のポイント
住宅侵入	手口：1位ガラス破り、2位無施錠	面倒でも施錠、置き鍵は駄目
振り込め詐欺	オレオレ、架空請求、融資、還付など	本人、家族と連絡、確認するなど
引ったくり	暗いところ。人通り少ないところ	命が大切、いざと言う時の叫び「助けて」か「火事だ」の方が良い
自転車盗難	カギありも盗難1位、是非登録を	
タイヤ盗難	道内9月1205件、無施錠倉庫・物置	施錠する（昨年10～12月多発）

4　もりの仲間の子どもを見守る秋の研修会終る

この度は、このネットワークが発足して4年が経過し、わが足もとである学校区内の実施状況について研修し、更なる前進の参考にしようとの発意を頂き、去る10月21日に見守る会主な方々にご参加頂き実施しました。

① 前段：各教頭先生から学校の特色を踏まえた活動内容、地域・団体との連携などについて、簡潔にかつ具体的に説明して頂きました。子どもに対する大人の言葉使い、躾とは、常識とは？など他校区状況も勉強できました。

② 後段：札幌市教育委員会指導主事の「三分一先生」を招き、前段に対する全市の視点からの指導や取組みについて伺いました。特に学校・家庭・地域で明日から共通して取組む具体策として「声かけの励行」が児童生徒の危機意識を向上させる効果にも期待できるなどの意見を頂きました。

研修会の様子

この研修会を通じ、学校・家庭・地域が一体となりそれぞれの役割を果たし、お互いに協力し合うことが何よりも大切であると痛感しております。

環境衛生部・女性部共催「出前講座」

テーマ ゴミ“有料化”から一年、その後の状況

関心度が高く質問も多く出されました

自分達の住む地域がゴミのない清潔な環境でいることは誰しもが望んでいるところです。有料化へと進んで一年が過ぎ、現状を知りたいということで、環境衛生部・女性部共催による出前講座を、去る9月2日（木）芸術の森地区会館において開きました。

札幌市南清掃事務所から普及係長坂邦幸様・指導員（ゴミパト隊）二階堂進様・木村太一様同席の中、同事務所長中井雅晴様の説明により進められました。

有料化による有効化率（効果）は通常20%前後のものが、札幌市は40～30%と、全国でも注目を浴びるほどの効果が上がっているとのこと。雑紙の量が増大していること。純粋でない雑紙は固形燃料として活用していること。廃棄ゴミは41%減となり、「消えたゴミ」ということだが、物を購入するに当たりリサイクルを念頭に入れていることも考えられること。等々。

参加者からは質問も多く出されました。

Q1　枝・葉・草の収集が4週に一回では足りない。地域性を考慮しているのか？

A1　市民アンケートを6月にとった。収集計画は全市的計画収集なので、来年はいままでどおりとなる。

Q2　来年は既に決定しているので致し方ないが、再来年に向け、是非地域性を考えて欲しい。

A2　今年から自治省の外郭団体に調査・研究を依頼している。　等々

地域における困難な事情も明確になり、暑い中多くの意見が出されました。ごみに関する問い合わせは、即座に“ゴミパト隊”に照会し明らかにすることを改めて承知しました。　参加者数40名。

芸術の森地区における 交通安全に関する意識の高まりを感じます　交通安全部

常盤小学校生徒の皆さんが啓発運動参加

芸術の森地区における交通安全市民総ぐるみ運動としての交通安全啓発運動は、例年季節に呼応し、春夏秋冬の4回、芸術の森地区会館前で実施しておりましたが、広い芸術の森地区において、より地域に浸透することを願い、今年から3年計画で、年に一度、啓発拠点の変更をすることにしました。1年目の今年は常盤小学校前を拠点に実施しました。学校のご協力の下、7月21日（水）、好天に恵まれて実施いたしました。植木校長のご挨拶も頂き、休み時間を利用し2クラスの児童及び先生のご協力もいただきました。児童の「交通安全に気をつけましょう」と黄色の旗を持ち、大きな声を上げてくれたのには大きな力を感じました。保護者の方々の参加もあり、長い旗の波が出来ました。夏の交通安全街頭啓発140名参加。

正面玄関前で統一

たすきを掛けて準備

先生も一緒

学校の前の黄色い旗の波

9月30日は芸術の森地区会館前で秋の交通安全街頭啓発運動を実施しました。前日までの荒れた天気がからりと晴れ上がり、70名の参加を得ました。

例年実施する冬の交通安全市民総ぐるみ運動は、旗の波をつくる啓発運動を行わず、研修会を行いました。11月16日（火）10:30～12:00、芸術の森地区会館2階において、講師に札幌方面南警察署交通第一課企画係長警部補吉田英樹様をお迎えし、交通事故防止に関するお話をいただきました。改めて自身の注意力の確認をせざるをえませんでした。80名参加。

女性部主催研修会

葬儀葬式について もしもの時のための予備知識 ～とても勉強になりました～

去る10月20日開催した女性部主催の研修会は、「葬儀・葬式」という、通常は公開されることの少ないテーマを敢えて取り上げました。昨年の研修会のテーマであった「遺言書の書き方」に次いで、人の「死」に関し、真正面から見据えたものです。

セリオむすめやのホールマネージャーを講師（各地区のマネージャーさん6名出席）にお招きしました。**宗派により異なる場合がある**ので注意を要するとの前置きで始まりました。

病院で身内○○死亡と仮定すると…◆葬儀社に連絡―病院からの紹介業者は断っても問題なしとのこと。◆死亡診断書―病院で必ず受け取ること。区役所に提出し「火・埋葬許可書」を受け取ること。提出は代行でも可。［死亡診断書］があれば自分自身の車で遺体を運ぶことは可能であるが、自宅安置が大変。◆現金の用意―故人の口座は一時凍結となる。…（葬儀社との打ち合わせ）…◆通夜の線香の火は絶やさないこと◆火葬場では、最近は2時間程度かかるとのこと◆自宅祭壇―ロウソクは危ないのでお参りするときだけ灯すとよい。灯篭は四十九日まで足元を照らすものなのでつけておき、その後は処分するとよい。◆納骨の儀―雪の季節に四十九日を迎える場合、春になってから納骨するのが普通。埋葬許可書が無ければ埋葬できないので、お骨と一緒に保管しておくとよい。等々…1時間半の講演・質疑応答時間の30分は瞬く間に過ぎました。葬儀費用の具体的な話しもあり、基本的な知識を得ることが出来たのではないでしょうか。

参加者全員に配布された資料の中に「私小説」という冊子がありました。自分自身の履歴・プロフィール・列席希望者名・メッセージ・覚書等を書き記しておくものです。「早速書いてみよう。」「さりげなく置いて書いてもらおうかな…」という参加者のつぶやきもあり、改めて考えさせられました。

38名参加。男性の参加者も多く、有意義な時間となりました。

講演会の様子

二年目を迎える運営委員会の活動

福祉のまち推進センター

今年で二年目を迎えた運営委員会は、南区社会福祉協議会の指導を受け、一歩一歩ではありますが歩みを進めているところです。今、札幌市では孤立死の絶滅に向けた取り組みを強化していますが、当運営委員会でも参加14の各町内会単位の福祉組織で福祉活動の充実を図りながら、単独世帯への支援の取り組みを進めようとしています。

その第一弾として「緊急連絡カード」の利用についての取り組みを強めていこうとしています。

「緊急連絡カード」とは、基本的には独居世帯での世帯主本人に異常が起きたとき、緊急に連絡すべき身内の人の電話番号や、普段利用している病院名などを記入しておくカードで、駆けつけた救急隊員や、近所の人がこのカードをみて連絡できるようにするためのものです。

他地区では冷蔵庫の中に入れておく等の取組みがテレビでも流されていましたが、当芸術の森地区でも第二回運営委員会で各14の町内会の福祉の代表者（運営委員）に手渡されました。活用方法は、単に独居世帯だけではなく、日中独居となる世帯にも配布して頂き、イザという時に利用できる態勢を是非とも構築して頂ければ幸いです。

福祉除雪サービスのご案内

例年、地域の支えあいとして札幌市社会福祉協議会、札幌市が実施している「福祉除雪」は、高齢者（70歳以上のみの世帯）及び障がいのある人の世帯などを対象に、地域の協力員の方々のご協力により実施する事業です。申し込みは、芸術の森地区社会福祉協議会（電話：592−7144）が窓口となっており、概要は、以下のとおりです。

本年度の申込みは、10月4日で、締切りとなり、南区は496件でした。この内、芸術の森地区が40件で、地域協力員約44名により行われます。

（1）利用対象者	道路に面している1戸建て住宅に居住し、約500m以内に除雪を援助できる子又は配偶者が居住していない世帯、自力で除雪が困難と認められる世帯
（2）除雪内容	間口部分（道路に面した出入り口部分）を概ね幅1.5m、敷地内は玄関先までの通路部分を歩行に支障のない80cm程度の幅を除雪。
（3）除雪日時	道路除雪の行われた日の午前中。
（4）除雪期間	平成22年12月1日（水）～平成23年3月25日（金）

福祉除雪協力員の募集

福祉除雪に協力していただける「地域協力員」の募集は、南区社会福祉協議会（電話：582−2415）で行っております。
なお、性別、年齢は、問いませんが、健康に自身のある方で、ボランティア活動にご協力いただける方は、是非、お申込みください。

第15回 芸術の森地区音楽祭

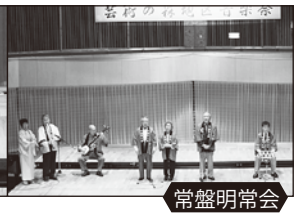
主催団体　芸術の森地区まちづくり推進会議
（財）札幌市芸術文化財団芸術の森
主管団体　札幌市常盤中学校区青少年健全育成推進会

常盤小

駒岡小

石山東小

SHO


常盤明常会

常盤中学校吹奏楽部

邦楽アンサンブル白雪

芸術の森地区音楽祭～感動の1日でした

去る11月14日（日）13:30～札幌芸術の森アートホールにおいて開催され、感動の中終了いたしました。平成7年度より常盤中学校区青少年健全育成推進会が中心となり、音楽の提供と青少年の健全育成に力を注いだことが発端です。平成11年度からは「芸術の森地区音楽祭」に名称を改め、平成16年度からは（財）札幌市芸術文化財団「芸術の森」が主催団体に加わり発展を続け今年は15回目を迎えました。地域在住の者がアーテイストとなり地域に住む人々の感動を呼ぶこの音楽祭はその歴史の重さを感じさせるものでした。出演者・観客者1,400名参加。

コラル・ラ・フォレ

札幌ジュニアジャズスクール

入口案内板

常盤中2年

常盤中1年

真野　桜

Twilight

第16回 芸術の森地区文化祭

例年文化の日にあわせ開催されている芸術の森地区での文化祭は、今年で16回目となり、11月2日3日の両日開催されました。この地域には才能豊かな方々が多くお住まいで、展示される作品は、訪れる方の目を楽しませてくれました。陶芸・工芸・書・絵画・写真・手芸等々あらゆる部門からの作品でした。今年の地域行事のビデオ映像も放映され、22年度前半の行事を振り返ることも出来ました。

好天とはいえない天候にもかかわらず100名の方が訪れました。

8月4日は円山動物園へ行きました
もりの仲間の子育てサロン

就学前の親子のコミュニケーションの場として通常は南老人福祉センター内の芸術の森地区福祉のまち推進センターで実施していますが、今回初めて、会場を外（円山動物園）に移して実施しました。

0歳～3歳、この時期の子供は親の行動に敏感に反応し、見聞きしたものを記憶しているといわれています。朝からの母親のうきうきした気持ちをそのまま映し、楽しんでいる様子でした。ママの説明に熱心に動物さんを見たり、指差しをしながら元気な様子でした。朝のセンター前までの送りはパパの運転で、お昼のお弁当は全員がママの手作りでというように、暖かい子育て環境にあることを推しはかることができました。62名の参加でした。

9月はセンターの畑で春に植えたじゃがいもの収穫をしました。大きな子達は、自分の手でしっかりと土の中から収穫をしていました。10月は南区の保育師さんによる手遊びを楽しみました。来る12月15日にはクリスマス会を開きます。親子さんの参加をお待ちしています。

ジャガイモ・トーキビ～とっても美味しかった
もりの仲間の三世代交流会
芸森社協・ふれあい部

恒例となった「もりの仲間の三世代交流会」は今年で9回目を迎え、去る9月4日（土）常盤児童会館で、秋晴れの下220名余が参加し盛大に行われました。

天気予報が“雨模様”ということで、子供たちが楽しみにしていた芋ほりは、前日のうちに係の手で終えたため出来ませんでしたが、ジャガイモ・トーキビ・枝豆がみんなに用意され、牛乳普及協会から提供された牛乳も加わって秋の味覚を満喫しました。更に綿あめやヨーヨーつりのほか、室内ゲームやおしゃべりで楽しみ、意図した交流会の目的は今年も十分果たされたものと思います。

前日、いや一週間ほど前から加勢していただいた20余名の実行委員等の皆さん、本当にありがとうございました。

もりの仲間のさわやかクラブ
高齢者支援部

今年度は、常盤一区明常会で第一回目を前半・後半に分けて行わせていただきました。とても活気のある会で、特に女性の方々がおしゃれで、見習いたいと思いました。毎回50名ちかくの方々が、参加してくださいました。30分の時間を使い「転倒予防」の講演を北海道循環器病院の岡本先生にお願いし、楽しく身体を動かしたり、ちょっときつめの運動をしたりしました。第二回目は、世帯数の少ない町内で行いました。

農繁期のため、希望者が余りにも少なくて、どうしようかと思いましたが、皆さんが声をかけて、誘ってくださいましたので、30名ちかくの参加があり、無事終了しました。第三回目は、サンブライト真駒内町内会で10月8日（金）に行いました。講演の後、体力測定をしました。町内会長さんはじめ、福祉関係の役員さんのお手伝いでスムーズに終了することが出来ました。ご協力及び参加いただきました皆様には、本当に感謝しています。最後にフマネットの講習会を、2月頃に計画し、この2年間のさわやかクラブの結果など皆様に報告したいと思っておりますので、宜しくお願いします。

福祉施設見学会
社会福祉協議会
高齢者支援部

今年度は、10月5日（火）に小樽にある「道指定介護老人福祉施設　望海荘」を見学させていただきました。定員142名、平均年齢85,64歳、待機高齢者459名（うち小樽市外20名）という説明等を聞いた後、ホーム内を案内していただきました。参加者が33名でしたので、3班に分かれて案内してもらいました。ホーム内は、明るく、廊下もホールも広々として快適な空間でした。毎月、遠足やドライブやクリスマス会、ひな祭り会、もちつきなどのイベントがあるそうです。また、書道教室やいけばな教室、歌のレクリェーションや、車椅子のダンス等もあり、毎日が楽しそうでした。

その後、にしん御殿小樽貴賓館（旧　青山別邸）で昼食をとり、別邸のガイドさんに案内をしてもらいました。祝津の網元がにしん漁で巨万の富を築いたそうです。客をもてなしたり、自らも楽しむ為に建てたこの別荘は、12室の各部屋を当代一流の画家・書家によって襖絵や書が描かれ、伝統的な純和風建築の中にも大正ロマンを彷彿とさせるモダンな洋室や枯山水の庭園など、素晴らしいものばかりでした。それから、帰りのバスの中でガイドさんの江差追分を聞き、まだちょっと早い紅葉を見ながら、ほぼ定刻に帰ってきました。

東っ子クラブ

石山東小学校２階
図書室にて

学校・家庭・地域が一体となって、放課後の子供の居場所作りをと考え、昨年からはじまったものです。放課後、希望する児童のみ、そのまま学校に残り、家の人が迎えに来るまで、自由時間をすごすものです。夏季は17:00、冬季は16:30までボランティアさんが見守る中、折り紙・工作・読書・運動等々自由な時間を過ごします。10月はビデオ鑑賞もしました。

玉が浮き上がるんだよ

作り方教えてもらってるの

とっても滑るんだよ

この本読みたかったの

芸森夏祭り

～元気ハツラツ～
笑顔がいっぱい
南老人福祉センター

去る8月11日（水）、南老人福祉センターにて、恒例となりました夏祭りが開催されました。夏休み中の地域の子供達も大勢参加しました。浴衣にうちわを背にしたセンターの来場者は堂に入った踊りを披露してくれました。謡曲では素晴らしい喉を聞かせていただきました。毎年参加をしている太鼓を叩く小・中学生や地域の方は慣れた様子でその場に溶け込んでいました。

いつもは喫茶店で珈琲をサービスしている「喫茶白樺」のボランティアさんはこの日はポップコーン・アイス等の提供、ヨーヨー釣ゲーム・カード合わせのゲームで子供たちを楽しませてくれました。

コラム

今年は、芸術の森地区やその周辺で、“熊出没”の話を耳にすることが多い。しかもその出没形跡が、住宅地の近くや人の出入りの多い公園や川原などに足跡や糞を残すというように、まるで犬が散歩をしているかのように目撃されている。札幌市に寄せられた今年のヒグマ出没件数は110件で前年同時期の42件に比べ大幅に増えている。石山・藤野地区では畑の被害も多発している。　突然目の前に熊が現れたら、貴方はどうする?! 想像以上の混乱が有る筈。長年営林署に勤務された常盤一区の小竹勲さんに熊に出会った体験と対応についてお話を伺った。（大滝）

ある日を思い出して　小竹　勲（一区町内会在住）

ある日の夜中である。ふと目が覚めた。夢のためである。それは熊に追われている夢である。私は子供の頃、“親に、熊に追われる夢を見ると風邪を引く前兆であるから暖かくしていなさい”といわれたのを思い出した。なるほど何となく風邪気味のような気がした。

ここで私が体験した熊に関した話を一寸してみようかな…と思った。

仕事の関係上、山の中の仕事がほとんどで、熊に遭遇することがかなりあった。

これは休日に茸を採りに行った時である。突然熊に出会い、熊の方が立ち上がった。「やられた」と思ったが、熊のほうが逃げていった。ここで或る先輩の言ったことを思い出した。“熊は正面しか見えないので立ち上がっても野を確認する”といっていたことを。

今まで個人的には二回、数人では十数回出遭ったことがある。ここで熊に対しての経験上から注意することを話しておこう。まず一つ目は、熊を見たら人間の存在を確認させる。二つ目は、熊は人を見たら必ず立ち上がる（十数回中8回は立ち上がっている）と思う。そのときは絶対に逃げないこと。三つ目は、動物園の熊とは違うので、自分の方からは絶対に近づいてはならない。

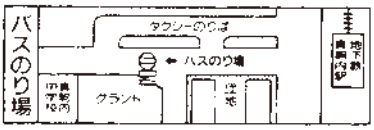
以上この三つの項目を注意したら、まず安全だと思う。

私が40年以上山での仕事をしての経験したことを語らいここで終わりたいと思います。

永久に生きる花と緑の明るい聖地
真駒内滝野霊園
札幌市許認可霊園

無料 見学・墓参バス運行中

時間
午前 10:00
午後 12:00
午後 2:00



お問合せ・お申込みは 真駒内滝野霊園事務所 ☎(011)592-1223(代表)

ふれあい行事

「ふれあい」を基調に企画実践されている事業を単位町内会別に紹介するシリーズ第3回目は常盤一区町内会です。

常盤一区町内会

土場部落会から分離して発足した常盤一区町内会は、今年創立64年を迎えました。

会内にある常盤小学校の校区には6つの町内会があることなどから、大きな行事は、近隣町内会や団体との共催が多くなっています。会則の「協調と融和」の精神で推進してきた行事のうち、一部を紹介します。

＊行事名の次の（　）内は主（共）催、協賛団体名です。

新年の挨拶をする大野会長

❶新年恒例会（常盤一区町内会）

参加90名（内子供10名）。子供を含むゲーム・クイズあり。豚汁好評。

❷空沼清掃登山（常盤体育振興会）　参加50名、万計沼での焼肉、近年ゴミ減少。

空沼清掃登山

丸木橋を渡ります

万計沼前で

❸大人と子供のふれあいスポーツ（常盤体育振興会）　卓球、フロアカーリング、囲碁ボール、スポーツチャンバラ。

❹盆踊り（常盤一区・常盤二区・常盤台・アートパーク町内会、常盤スポーツ少年団、常盤明常会、昭和会）

踊るって楽しい

参加400名、おでん・焼き鳥・焼そば・焼きイカ・たこ焼き・わた菓子の手作り、仮装大会（今年は34組参加）やぐらの上からのお菓子撒きが名物。

仮装大会

❺常盤神社例大祭（常盤一区・常盤二区・常盤台・サンブライト・アートパーク・常盤団地町内会、常盤明常会、昭和会）

参加400名。売店は盆踊りと同じ。

しめ縄手作り、子供相撲、子供みこし、小中学校生徒によるバンド演奏。

子供みこし

❻敬老会（常盤一区・常盤二区・常盤台町内会）参加98名。豚汁好評。

❼しめ縄作り（常盤一区町内会）

町内会女性部の主催により例年12月に実施。手作りのしめ縄が新年を飾ります。

しめ縄作り

❽社会見学と日帰りレクリエーション（常盤一区町内会）

町内会女性部の主催により7月に実施。

小樽自然工房にて、自然素材のオルゴール作りを体験。

世界でたった一つのオルゴールを作る。

これを機に町内会の人々の交流が深まり、楽しい思い出を作ることが出来ました。

オルゴール完成

入所サービス
ショートステイ
みなさまの想いにおこたえいたします
通所リハビリテーション
介護予防通所リハビリ

医療法人 愛全会
介護老人保健施設
アートヒルズ
〒005-0849 札幌市南区石山837-47
0120 FreeDial 0120-348-365（みんな しあわせ 365日）

福祉を支える人　笹田（ささだ） 仁史（ひとし）さん

プロフィール

1934年（昭和9年）、亀田郡尻岸内で出生。
1950年（昭和25年）恵山新制中学校卒。
1954年（昭和29年）会社勤務。
2004年（平成14年）退社。

「石山東に来て45年。地縁団体見晴町内会の主になった」と話す笹田さん。特技を生かして地域に貢献されている。

「私の日曜大工は、誰が言うと無く知れ渡り、気がついたときには、ゴミサークル（ベニヤ板、縦60cm×横45cmを10枚組み合わせたもの）今までに40組を造った」と云う。

現物を見ると、置き場所に合わせて自由に形を変えて置ける優れ物、網をかけてカラスの食害や飛散を防いでいて、ゴミステーションには欠かせない存在になっている。

こうした事が認められて、平成19年に南区クリーンさっぽろ衛生推進協議会から「清掃ボランティア実践者表彰」個人の部で受賞された。

「毎年行われる年4回の町内会の清掃日には100人が集まる」と微笑む。環境部長、子どもみまもり隊員、フラワロード花壇など「安全できれいなまちづくり」を実践している一人。「ボランティアを通じていろんな人と交わりができて楽しい」と喜びをかみしめる。石山東2丁目に在住。妻と二人暮し。

真駒内川改修工事

真駒内川を考える会　会長　**関口　明**

去る8月31日（1期工事）、同11月25日（2期工事）の両日、地区まちづくりセンターで、平成22年度真駒内川総合流域防災工事の説明会が行われました。工事予定としては、

①１期工事
工事区間：昨年度終了地点から上流160m地点（人道橋下流落差工下）まで
工事期間：9月1日から23年 1月20日
施工業者：（株）花井柳川　011－662－2328

②２期工事
工事区間：1期工事終了地点から上流74m地点（人道橋下10m下流地点）まで
工事期間：11月8日から23年 3月30日
施工業者：正木土建（株）0123－23－3222

で、今年度は左岸（石山東町内会）ばかりでなく、右岸（常盤団地町内会）も行われます。

「要所に交通整理員を配置し、事故防止に努めます」とのことですが、みなさんには期間中工事箇所への立ち入りをご遠慮いただくなど、十分注意を怠らず、特に路上駐車は厳につつしんでもらいたいと思います。

交流「もちつき大会」の開催

幼児及び小学生と家族を対象とした恒例の交流もちつき大会を開催します。多数のご参加をお待ちしております。みんなでもちつき体験をして、交流を深めながら食べましょう。

★お願い　器及び箸は持参してください。

日　時　**12月12日（日）**
幼児と家族　10時30分～11時30分
小学生以上　11時30分～13時
場　所　**常盤児童会館**
主　催　芸術の森地区青少年育成委員会

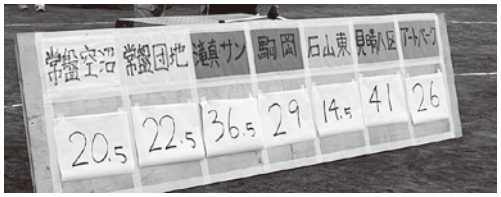
芸森地区町内会連合会大運動会
見晴・八区チーム逆転で３連覇

開催場所を常盤小学校グランドと交互に実施している芸術の森地区町内会連合会大運動会は、偶数回の今年は、運動会日和に恵まれた去る8月29日、石山東小学校グランドでおこなわれ、見事、見晴・八区チームが三連覇を果たしました。「遅かれ早かれ…」とは見られていましたが、特に今年は「女性パークリング」で底力を発揮し、「百足競争」で激戦を制した結果の逆転・連覇であり。日ごろの精進・鍛錬の賜物と評されています。

今年で16回目を数える連町運動会での連覇は3連覇・5連覇を果たし「又か…」と呆れられるほどの強さを見せた石山東チームの記録もあり、このたびの3連覇をステップとして、5連覇・10連覇に向け、またつとに力量を発揮してきたサンブライト滝真など他チーム共々の奮闘を祈念して、まづは優勝おめでとうございました。

ご来賓の方々、そして校長先生はじめ全面協力をいただいた石山東小学校の先生方には心からお礼を申し上げます。

優　勝▶見晴・八区チーム｛三連覇｝
準優勝▶サンブライト滝真
三　位▶駒岡



おめでとうございます

★ **野沢　利文　様**
　瑞宝小綬章　郵政事業の功労により
★ **札幌市立駒岡小学校**
　さっぽろ環境賞　環境保全・創造部門優秀賞　受賞
　札幌市が環境保全に貢献する個人・企業及び団体を表彰

“保養センター駒岡を残してください”署名のお礼について

芸術の森地区町内会連合会会長　**関口　明**

札幌市が6月に行なった市の事業仕分けで、不要（廃止）と判定された当センターの存続願いの署名にご協力を賜りまして、心より感謝いたします。皆様のご協力によりまして状況が好転しましたので、これまでの経過についてお知らせいたします。

◆ 署名簿の提出は11,622名となりました。

一度目は市長政策室への直々のお願いで、7月30日に芸森連町、地区社協、保養センター教養講座および駒岡朝市より12名の方が出席し9,000名の署名簿を提出しました。

二度目からは、芸森連町で集約した署名簿を窓口の高齢福祉課へ8月12日1,400名分、10月1日960名分、10月19日262名分と四度で合計11,622名分を提出しました。

これまでご協力頂いた芸森連町、地区社協、保養センター教養講座、駒岡朝市、石山朝市および7ブロック老人クラブが一致団結し署名活動を行なった賜物と感謝に堪えません。さらに協力要請をお願いした他地区連町（真駒内、藻岩）、センターパークゴルフ場利用者に対しても深甚の謝意を表したいと思います。

◆ 市議会厚生委員会と本会議で陳情を全会一致で採択

本件についての委員会審議は、「陳情」と「市民の意見」を受けて10月1日に開催されました。これには地域の方々をはじめ教養講座や朝市の関係者が多数傍聴されました。仕分け結果について各会派より活発な意見が出されましたが、この中で1万名を越える署名の重み、さらに市民の意見についても廃止に反対の意見が84%もあり、重く受け止められました。この結果、後日現地を見て判断することとなりました。

10月27日厚生委員会が開催されました。この日も前回同様多数の方が傍聴されました。各会派の代表者より発言がありましたが、全会派より廃止に対し、すべきではない、拙速すぎる、存続すべきなど、陳情に対し採択賛成の意見が出され全会一致で採択され、次いで10月29日の市議会本会議においても全会一致で採択されました。

◆ 課題解決のための検討委員会を発足の予定

市議会厚生委員会において存続をする場合の数多くの課題が出されました。市の意向では、年度内に検討委員会を立ち上げ多くの課題解決に向けて検討する予定です。

今後とも皆様より貴重なご意見を賜りたくご協力方よろしくお願いいたします。

子ども110番の家スタンプラリー

常盤小学校　教頭　綱渕友也

常盤小学校区には310数件の「子ども110番の家」があります。110番の家スタンプラリーは、芸術の森地区町内会連合会の「もりの仲間の子どもを見守るネットワーク」で行っている取組です。子どもたちが110番の家を確認したり、110番の家の方と顔見知りになったりして、万が一何かあった時に駆け込みやすくすることを目的として行っています。夏休み中に子どもたちがスタンプラリーカードを持って、近くの子ども110番の家を回りました。他地区では見られない、110番の家を知る上で大変有効な活動です。この活動を通して、地域と子どもたちのかかわりがより深まることを願っております。

地域にお住まいの方で、「子ども110番の家」に新規に登録してくださる方がいらっしゃいましたら学校までご連絡ください。また、すでに登録されている方で、ステッカーの破損や色あせがありましたら同じくお知らせください。交換いたします。

第39回南区少年少女親善スポーツ大会
石山東バイソンズJr.B中学年の部優勝

青少年育成委員会

11月21日（日）、南区体育館において、第39回目となる少年少女親善スポーツ大会（ドッジボール）が開催されました。

競技には、高学年の部15チーム、中学年の部11チームが参加し、トーナメント方式により熱戦が繰り広げられ、高学年の部では、常盤YESチームが第3位、中学年の部では石山東バイソンズ Jr.Bチームがみごと優勝しました。

監督、コーチ、保護者等関係者のご協力、ご支援はもちろん、選手自身の勝利への執念の賜物であり、心からお礼を申し上げ、共に喜び合いたいと思います。

石山東バイソンズJR. B

常盤YES

編集後記

今年、札幌市の8月の平均気温は山形県・酒田市と同じだったといいます。そういえばこれまでになく暑い日が続きましたし、しかも蒸しむしと、改めて「これが“内地”の暑さか」と思わせる夏でしたが、皆さんお変わりなくお過ごしでしたか。

全世界的にも異常気象で災害が多発し、加えて国内ではようやく政権交代後1年は経たものの、不景気も長びいたままでいま一（いち）ぱっとせず、十二支の三番目という寅年も残すところ1ヶ月となりました。

どうぞ変わりないご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

広報「芸術の森」編集委員会一同